

令和 8 年度 (株)神戸製鋼所加古川製鉄所及び

関西熱化学(株)加古川工場環境保全協議会議事録

1. 開催日時：令和 8 年 7 月 13 日（月） 14：00～15：45
2. 開催場所：(株)神戸製鋼所加古川製鉄所 神鋼広報センター 大ホール
3. 会議内容

(1) 開会

(2) 委員の紹介

(3) 議題

①議案

議案 1・・・令和 7 年度環境保全協議会収支決算について

－ 承認 －

議案 2・・・令和 8 年度環境保全協議会収支予算案について

－ 承認 －

②報告事項

報告 1 令和 7 年度立入調査結果について

(兵庫県報告)

- ・令和 7 年度は 8 回の立入調査を実施した。
- ・9 月の立入検査では、8 月度の降下ばいじん自主管理目標値超過に関して、加古川市と合同で立入検査を実施した。
- ・11 月の立入検査では、フロン類の漏洩について、再発防止の指導を行った。
- ・1 月には公害機動隊による立入を実施した。重大な違反は見られなかったが、廃棄物分野の破碎施設等に関して指導し、いずれも改善の報告があった。

(加古川市報告)

- ・大気関係 22 回、水質関係 33 回、騒音関係 2 回、延べ 57 回の立入調査を行った。
- ・水質関係の立入調査では、排水口での水質調査、排水差温調査、汚濁負荷量調査、pH 計の精度確認を行い、協定値の超過はないことを確認した。
- ・大気関係の立入調査では、粉じん発生のおそれがある、堆積場やその他粉じん発生施設の現地調査等を行った。

- ・8月度の降下ばいじん自主管理目標値超過に関する操業状況の確認については、兵庫県と合同で焼結工場、貯炭ヤード等を中心に現地確認を実施した。今後も定期的な立入検査により粉じん飛散防止対策の実施を確認する予定である。
- ・テレメータ監視結果として窒素酸化物については最大 462 Nm³/時、硫黄酸化物については最大 258Nm³/時であり、協定値の超過はなかった。
- ・降下ばいじんについては、加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校における降下ばいじん総量の年平均値が 2.8t/km²/月となり、前年度と同程度であった。
- ・騒音関係では製鉄所敷地境界での騒音測定を行い、騒音規制法の基準値超過はなかった。
- ・令和7年度に加古川市が受け付けた製鉄所に対する苦情件数は2件であり、主な内容は粉じんに関する意見であった。令和6年度の10件と比較すると減少している。

－ 質疑 －

(委員) 令和8年2月の油流出事故の詳細を知りたい。

(加古川市) 東岸壁における陸揚げ作業中にアンローダーより油が流出した。外部への流出はないことを確認している。

(委員) 令和7年度の苦情2件は何月頃受け付けたものか。

(加古川市) どちらも7月に受け付けている。

報告2 協定書の実施状況について ((株)神戸製鋼所加古川製鉄所報告)

(大気関係)

- ・硫黄酸化物、窒素酸化物、ばいじんの時間排出量、年間排出量について、協定値を遵守している。
- ・降下ばいじんについては、令和7年8月に加古川神鋼ビルにおいて製鉄所自主管理目標値を超過した。

(水質関係)

- ・COD、SS、ノルマルヘキサン抽出物質及び溶解性鉄の負荷量について、協定値を遵守している。

(騒音関係)

- ・製鉄所周辺3地点で騒音を監視した結果、環境基準 60dB を超えた時間もあるが、虫の鳴き声、トラック走行音等の影響であり、製鉄所の操業に起因する騒音ではなかった。

(悪臭関係)

- ・アンモニア、硫化水素について敷地境界で臭気測定を行い、法令の基準を遵守した。

(発生品対策関係)

- ・製鉄所内で発生するスラグについてはセメントや路盤材等として有効活用し、再資

源化に取り組んでいる。

(情報公開関係)

- ・令和7年5月25日に現地説明会を開催した。7名の出席があり、環境保全の取り組み状況を説明するとともに、現地見学を行った。

(降下ばいじん対策)

- ・令和7年8月の降下ばいじん自主管理目標値未達成については、所内での異常はなかったが、南風の頻度が例年に比べて高かった。ドップラーライダーによる気象観測や降下ばいじん連続計の導入により得られたデータから解析することで、事前処理地区のうち、焼結工場南側からの寄与が大きいことがわかった。これらの結果を基に、集じんルート見直しによる集じん効率向上や、集じん機増設といった対策を行う予定であるが、その他応急対策としてベルトコンベアの密閉化及びパトロール強化による発じん箇所の早期発見を実施している。

(環境に関する問合せ)

- ・環境フリーダイヤルにて粉じんに関する問合せを受け付けた。内容に応じて所内の状況を確認し、相手方に説明している。

－ 質疑 －

(委員) 8月度の降下ばいじん量目標超過に関し、継続的に製鉄所からの飛散量が多かったのか、数日のみ多かったのか、どのような認識か。

(神鋼) 常時飛散しているわけではなく気象条件に影響されるため、南風の際は飛散量が多く、北風の際は少ないと考えられる。

(4) その他

協議会の内容を加古川市ホームページに掲載することを事務局より説明

(5) 工場見学

コークス工場集じん機、タイヤ洗浄設備、防風ネット（高所散水設備）、石炭ヤード散水状況、防じんネット（敷地境界散水設備）、高所散水前処理施設について見学

(6) 閉会